

坂井北部地区 耕作放棄地再生活動(秋)

－ 保育園児との芋ほり －

令和 8 年 10 月 14 日(水)午前 9 時 00 分から福井県あわら市二面地内で行われた坂井北部土地改良区主催の耕作放棄地再生活動に約 90 名(うち当会員は 9 名)が参加しました。

坂井北部土地改良区は、平成 21 年度から高齢化等により耕作放棄された農地の再生を目的として当 NPO 北陸支部や福井県土地改良事業団体連合会とともに、将来を担う子供達(保育園児)への作物の収穫体験を通じた情操教育を行っております。NPO 美しい田園21北陸支部は、平成 22 年から本活動に参加しており、春のさつま芋の苗植えから秋のさつま芋の収穫までの一連の活動を行っております。

今回のさつま芋の収穫には、あわら市立「あわら子供園」及び「金津子供園」の5歳児と4歳児の 66 名の園児が参加しました。当日の天候は時々、激しい雨が降って一時作業を中断しましたが、9 時 30 分から「あわら子供園」、10 時 40 分頃から「金津子供園」の園児達が畑に入り、無事に収穫作業を終えました。



「あわら子供園」の園児たちと NPO 会員



「金津子供園」の園児たちと NPO 会員

NPO 北陸支部からは7名が参加しました。これまで培った農作業技術をフルに発揮し、園児たちが掘りやすいよう予めスコップで掘り起こしました。時々、土を掘る音に混じり、さつま芋に当たる音も聞こえたように感じましたが、何とか作業を進めて園児たちと一緒に楽しく芋ほりすることができました。

今年の天候は雨が多かったので、さつま芋の生育が心配されましたが土地改良区職員の皆さんの管理のおかげで昨年に比べて沢山収穫することができたことから、NPO 参加者は掘ったさつま芋を持ち帰り、美味しくいただきました。

さつま芋を持ち帰った園児たちは、楽しく芋ほりしたことをご家庭で話されたでしょう。(近年、あわら市の幼稚園児が減少していることが気がかりです)

芋ほりは楽しい思い出になったそうですね！



雨の中、会員の皆さんも頑張りました。

楽しく芋ほりする園児たちを見て、参加した NPO 会員の皆さんも頑張ることができました。
今年は雨の中、NPO の皆さんも大変でしたが、来年も宜しくお願いします。